

噴水広場入口



世界最大級の水族館「海遊館」の玄関口となるウェルカムゾーンにある噴水広場。施設は、大阪の観光スポットとして、家族連れやカップルなどで賑わっている。

トイレ図面

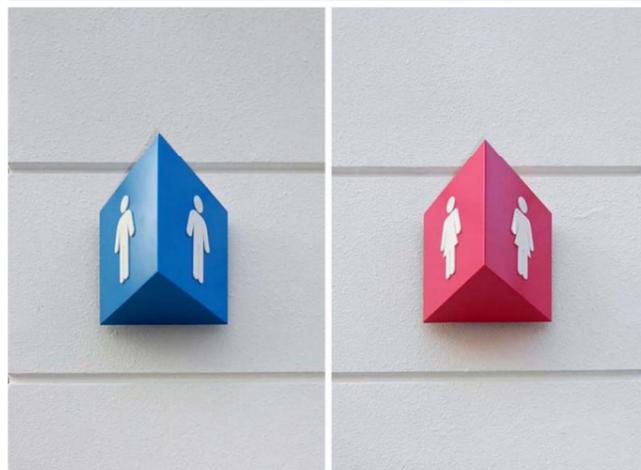


噴水広場トイレ外観



太陽と雨の力を利用し、セルフクリーニング効果で外壁を「真っ白」に保つ光触媒塗料ハイドロテクトカラーコートECO-SPを採用。防犯対策や維持管理のため夜間はシャッター施設している。(開錠時間：7:00～22:30)

トイレ入口サイン



施設の玄関口に位置するトイレとして、トイレサインは、遠くからでも見つけやすいように、立体的な形状を正面、左右両サイドから見やすくデザインされている。

女性トイレ 大便器ブース



男女トイレ共に、小さなお子様連れに配慮して、ベビーチェアを設置したひろめのブースを設けている。

男性トイレ 小便器コーナー



小さなお子様から大人まで使いやすい低リップタイプの小便器を採用。1ヶ所は、立位を安定させる専用手すりを設置。足元には尿の飛散によるにおいや、汚れを軽減する、ハイドロセラ・フロアを採用している。

男性トイレ 洗面コーナー



洗面コーナーに設置された水栓金具は、水じまいのよい壁付き自動水栓に衛生性に配慮して水石けんを設置。洗面姿勢を保持するための手すりも設置されている。

改修前



従来のトイレ棟外壁は、屋外設置によりチリ・ホコリや汚染物質などの汚れが付着し、白い外壁に黒ズミが目立ち、大便器は和式便器で、トイレ空間は薄暗く不衛生な印象で立ち上るにおいが気になっていた。

女性トイレ 全体



壁面はメンテナンス性を考慮し、従来の目地が多い100角タイルから明るく衛生的な不燃パネルに変更。従来のトップライトから、照度をアップした天井部の照明器具により、薄暗い印象を払拭した。

女性トイレ 大便器ブース



節水性とデザイン性に優れた、4.8L洗浄のパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式を採用。ウォシュレットのリモコンは電源不要のエコリモコン。荷物棚の手前を立ち上げた、手荷物の落下を防ぐ仕様。

建築概要

名称	海遊館 噴水広場トイレ
所在地	大阪市港区海岸通1-1-10
施主	株式会社海遊館
設計	株式会社近創
施工	大日本土木株式会社
竣工年月	(改修) 2016年3月

水まわりの特長

<改修の経緯>

海遊館は、大阪港のウォーターフロント開発計画の一環として、1990年大阪市港区天保山に開設された複合型アミューズメント施設。世界最大級の水族館「海遊館」、大型商業施設「天保山マーケットプレース」、大観覧車などで構成される。対岸のユニバーサル・スタジオ・ジャパンと並ぶ観光スポットとして、家族連れやカップルなどで賑わっている。施設の玄関口に位置する噴水広場トイレは、築25年の経年劣化が進んだこともあり、お客様に快適に過ごしてもらえように、トイレ改修を行った。

<トイレの特長>

屋外トイレ棟であることから、外壁をチリ・ホコリ、汚染物質の汚れから守り「真っ白」に保つため、太陽と雨の力を利用しセルフクリーニング効果で建物外壁の美観を保つ光触媒塗料ハイドロテクトカラーコートECO-SPを採用。施主の意向から衛生性に配慮して、大便器を和式から洋式便器に、清掃方法も湿式清掃から乾式清掃へと変更した。大便器は、節水性とデザイン性に優れたパブリックコンパクト便器・フラッシュタンク式とウォシュレットを採用。利用者からは、明るく臭いが気にならなくなったと好評である。屋外トイレのため、防犯対策や維持管理への配慮から夜間施設している。